

この教材見本は、実際の1カ月分の教材よりも回数・ページ数が少ないダイジェスト版です。

※実際の教材の1カ月あたりの学習量は、1回30分×8回です。

この教材見本は1カ月分の一部を抜粋して掲載しています。下記の黒字が今回の掲載回です。

※テキストスタイルの見本になります。

※添削問題は、「一貫標準」「一貫発展」共通の問題を掲載しています。

## be動詞 2

- 1 要点学習 要点 1
  - 2 要点学習 要点 2
  - 3 応用学習 スピーキング 1
  - 4 応用学習 スピーキング 2
  - 5 応用学習 読解演習
  - 6 応用学習 英作文演習
  - 7 添削問題 添削問題 1
  - 8 添削問題 添削問題 2
- 巻末 添削指導例

1

## 要点学習 be 動詞 2

## 要点 1

30分

## 要点

## 「彼〔彼女〕は～です」の表し方

「彼〔彼女〕は～です」の表し方とともに、「彼〔彼女〕は～ですか」という疑問文とそれに対する答え方、「彼〔彼女〕は～ではありません」という否定文の表し方を見ていきましょう。



1

That boy is Ken. **He is** my brother.

(あの少年はケンです。彼はわたしの兄〔弟〕です。)

**Is she** a teacher?

(彼女は先生ですか。)

— **Yes, she is.**

(はい、そうです。)

**Is he** a doctor?

(彼は医者ですか。)

— **No, he isn't.**

(いいえ、ちがいます。)

**He isn't** a doctor.

(彼は医者ではありません。)

## ◆ 「彼〔彼女〕は～です」の表し方

「彼は～です。」は He is ～. / 「彼女は～です。」は She is ～. で表します。

That boy is Ken. **He is** my brother.

Ken (ケン) は、話し手の自分でも聞き手である相手でもないですね。このように、自分や相手以外の男性について言うとき、2度目以降は **he** (彼は) に置き換えます。

That boy is Ken. **He** is my brother.



自分や相手以外の女性について言うとき、2度目以降は **she** (彼女は) に置き換えます。

That girl is Yuko. **She** is my friend. (あの少女はユウコです。彼女はわたしの友達です。)



## ◆ 「彼〔彼女〕は～ですか」という疑問文とそれに対する答え方

「あなたは～ですか」と相手にたずねるときは、You are ～ の文を次のように変えましたね。

You are a doctor . (あなたは医者です。)

**Are you** a doctor ? (あなたは医者ですか。)

「彼〔彼女〕は～ですか」とたずねる文も同じように主語と動詞の位置を入れ替えて、最後にクエスチョンマーク(?)を付けます。

She is a teacher . (彼女は先生です。)  
 ↓  
**Is she** a teacher ? (彼女は先生ですか。)

He is a doctor . (彼は医者です。)  
 ↓  
**Is he** a doctor ? (彼は医者ですか。)

答え方は次のようになります。

疑問文	例)	「はい、そうです。」	「いいえ、ちがいます。」
Is he ~ ?	Is he a doctor? (彼は医者ですか。)	<b>Yes, he is.</b>	<b>No, he is not.</b> または <b>No, he isn't.</b> [No, he's not.]
Is she ~ ?	Is she a teacher? (彼女は先生ですか。)	<b>Yes, she is.</b>	<b>No, she is not.</b> または <b>No, she isn't.</b> [No, she's not.]

 注目

No, he isn't. [No, he's not.] → No, he is not. の短縮形  
 No, she isn't. [No, she's not.] → No, she is not. の短縮形 です。  
 ただし、Yes, he (she) is. の文では、短縮形は使われないことに注意しましょう。

◆ 「彼〔彼女〕は～ではありません」という否定文の表し方

I am ~ や You are ~, This is ~ や That is ~ を否定する文を作るとき、not (~ではない) を動詞 (am / are / is) のすぐあとに置きましたね。

I **am not** a student. (わたしは学生ではありません。)  
 You **are not** an engineer. (あなたはエンジニアではありません。)  
 This **is not [isn't]** a camera. (これはカメラではありません。)

He [She] is ~ (彼〔彼女〕は～です) を否定するときも同じように、動詞is のすぐあとに not (~ではない) を置きます。

肯定文 He **is** a doctor. (彼は医者です。)

否定文 He **is not** a doctor. [He **isn't** a doctor. / He's **not** a doctor.]

(彼は医者ではありません。)

肯定文 She **is** a teacher. (彼女は先生です。)

否定文 She **is not** a teacher. [She **isn't** a teacher. / She's **not** a teacher.]

(彼女は先生ではありません。)

### 確認 am / are / is の使い分け

am / are / is はどれも「～です」という意味を表しますが、どれを使うかは主語によって決まります。

	「～は」 (主語)	「です」 (動詞)	具体的な説明
自分 (1人称)	I	<b>am</b>	a student. (わたしは生徒です。)
相手 (2人称)	You	<b>are</b>	a teacher. (あなたは先生です。)
自分と相手以外 (= 3人称)	He (男性)	<b>is</b>	a doctor. (彼は医者です。)
	She (女性)		my friend. (彼女はわたしの友達です。)
	This		a pen. (これはペンです。)
	That		a cat. (あれは猫です。)

am / are / is は、be 動詞と呼ばれます。I と you 以外で、1つ〔1人〕が主語の場合は、すべて is を使います。

### ちょっとくわしく 「代名詞」

「名詞」の「代わり」をする言葉を「代名詞」と言います。

I (わたしは), you (あなたは), he (彼は), she (彼女は), this (これは), that (あれ [それ] は) はすべて代名詞です。

また, my (わたしの), your (あなたの) は「代名詞の所有格」と言い、所有の意味を表します。

## POINT

- 「彼は～です。」は He is ～. / 「彼女は～です。」は She is ～. で表す。
- 「彼は～ですか。」は Is he ～? / 「彼女は～ですか。」は Is she ～? で表す。  
 答え方は、「はい、そうです。」 → Yes, he [she] is.  
 「いいえ、ちがいます。」 → No, he [she] is not. または短縮形で、  
 No, he [she] isn't. / No, he's [she's] not.
- 「彼〔彼女〕は～ではありません。」は、  
 He [She] is not ～. または短縮形で、He [She] isn't ～. / He's [She's] not ～.

## 例題

次の日本語の意味を表すように、空所に最も適当な語を1語ずつ入れて、下線部全文を書きなさい。

- (1) A : あの男性はあなたの先生ですか。  
 B : いいえ、ちがいます。彼はトムの先生です。  
 A : Is that man your teacher?  
 B : No, ( ) ( ). ( ) ( ) Tom's teacher.

---



---



---

- (2) A : アンナはあなたの生徒ですか。  
 B : はい、そうです。彼女はわたしの優秀な生徒です。  
 A : Is Anna your student?  
 B : Yes, ( ) ( ). ( ) my good student.

---



---



---

## 形容詞の使い方

「きれいな」「よい」など、「人やものの性質や状態を表す言葉」を形容詞と言います。ここでは、形容詞の使い方について見ていきましょう。



2

This is a **beautiful** flower.

(これはきれいな花です。)

This flower is **beautiful**.

(この花はきれいです。)

beautiful は「きれいな」という意味ですね。このように、ものの‘性質・状態’を表す語を形容詞と言います。

good (よい; じょうずな)    nice (すてきな)    many (多くの)    easy (簡単な)  
 big (大きい)    ⇔    little (小さい)  
 long (長い)    ⇔    short (短い)  
 old (古い)    ⇔    new (新しい)  
 old (年老いた)    ⇔    young (若い)

形容詞には2つの用法があります。

### ◆名詞の前に置いて、「…な○○」という形でその名詞を説明する用法

This is a **beautiful** flower.

このa beautiful flower (きれいな花) のように、「…な○○」と言うときの語順は、  
 〈 a [an] + 形容詞 + 名詞 〉  
 です。形容詞が名詞の直前にくるのは、日本語と同じですね。

This is a **big** house. (これは大きな家です。)

This is an **old** dictionary. (これは古い辞書です。)

a を使うか an を使うかは、直後にくる語の最初の音で決まります。直後にくる語が母音(日本語のアイウエオに似た音) で始まるときには、a ~ では発音しにくいので、an を使います。  
 → 「(1冊の) 辞書」は a dictionary

「(1冊の) 古い辞書」は an old dictionary

冠詞 (a, an, the) のほかに、my (わたしの), your (あなたの), Mike's (マイクの) など所有を表す語、また **this**, **that** などと形容詞と一緒に使うときには、形容詞をそれらの語のあとに置きます。

a **beautiful** flower (美しい花)  
 my **good** friend (わたしの親友)  
 that **tall** boy (あの背の高い少年)

また、1つの名詞を2つ以上の形容詞が修飾する場合は、次のような語順になります。

〈 ①**this, that, 所有格など** + ②**数量を表す形容詞** + ③**性質を表す形容詞** + **名詞** 〉

I love ①**my** ②**three** ③**pretty** dogs. (わたしは、わたしの3匹のかわいい犬が大好きです。)  
 Do you have ②**many** ③**good** friends? (きみにはよい友達がたくさんいますか。)

#### ◆ 「○○は…だ」という形で、主語について説明する用法

This flower is **beautiful**. (この花はきれいです。)

このように am, are, is (be 動詞) のあとに形容詞を単独で用いて、主語がどのような‘性質・状態’であるかを説明する用法です。この場合の語順は、次のようになります。

〈 **主語** + **am ; are ; is** + **形容詞** 〉

**This bike** is **new**. (この自転車は新しいです。)

**I** am **happy**. (わたしは幸せです。)

#### ちょっとくわしく 「形容詞の働きをする this や that」

this や that には、名詞の前に置く用法もあります。

**this** book (この本)

**that** dog (あの犬)

this や that が名詞のすぐ前に置かれた場合は、a [an] などの冠詞や、my などの所有を表す語はその名詞には付けません。

(a) **This** is a white horse. (これは白い馬です。)

(b) **This** horse is white. (この馬は白いです。)

(a) では white (白い) という形容詞が horse (馬) という名詞にかかっていて、全体では this = a white horse という関係が成り立っています。

(b) では、white が主語 This horse の ‘性質・状態’ を説明していて、全体では、This horse = white という関係になっています。

a [an] は数えられる名詞が1つの場合に付きますが、(b) では、white の後ろに名詞が続いていないので、a [an] は不要であることに注意しましょう。

## POINT

■ 形容詞には次の2つの用法がある。

(1) 名詞の前に置いて、「…な○○」という形でその名詞を説明する用法

a beautiful flower (きれいな花), an old dictionary (古い辞書)

(2) 「○○は…だ」という形で、主語について説明する用法

This dictionary is old. (この辞書は古いです。)

## 例題

次の日本語の意味を表すように、空所に最も適当な語を1語ずつ入れて、全文を書きなさい。

(1) これは大きい犬です。

( ) is ( ) ( ) dog.

---

---

---

(2) あの病院は古いです。

( ) ( ) is old.

---

---

---

## what を用いた文

what を使って「～は何ですか。」とたずねる文を作ってみましょう。また、この質問への答え方も見ていきましょう。



3

**What is this?**

(これは何ですか。)

— **It's a book.**

((それは)本です。)

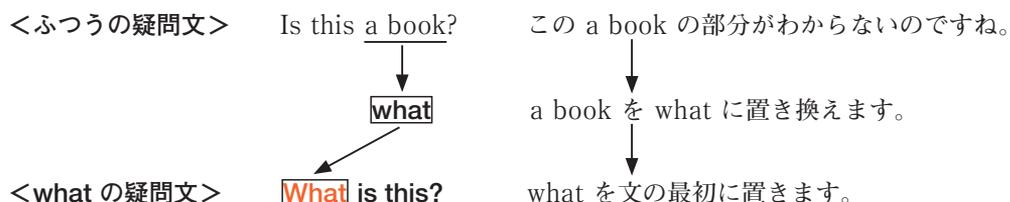
あるものについてたずねる文として、次のような疑問文を勉強しましたね。

Is this a book? (これは本ですか。)

では、「これ」が book (本) なのか何なのかまったくわからない場合は、どのように言えばよいでしょう。日本語では「これは何ですか。」のようにたずねますね。英語では, what (何) を用いて次のように言います。

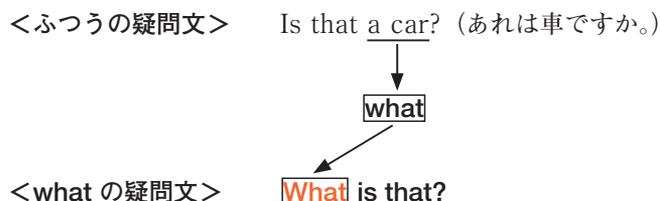
### What is this?

それでは、この what を用いた疑問文は、どのようにして作られるのでしょうか。



what は必ず疑問文の最初に置く決まりがあります。×Is this what? などとしないように注意しましょう。

同じように、「あれ [それ] は何ですか。」は、**What is that?** となります。



Is this a book? (↑) や Is that a car? (↑) などの疑問文は文の最後を上げて読みましたが、What で始まる疑問文は、What is this [that] ? (↘) のように文の最後を下げ調子にします。また、What is ~? → What's ~? という短縮形があることも覚えておきましょう。

What is this? → **What's** this?

次に、答え方について見ていきましょう。

「これはなんですか。」とたずねられて、「はい、そうです。」「いいえ、ちがいます。」と答えるのでは変ですね。たずねられているものを具体的に答えます。

What is this? (これは何ですか。)

— **It is [It's] a book.** ((それは) 本です。)

また、Is this [that] ~? という疑問文に、Yes, **it** is. または No, **it** isn't. [No, **it's** not.] と答えるのと同じように、what で始まる疑問文も this や that の代わりに **it** を使って答える点に注意しましょう。

What is that? (あれは何ですか。)

— **It's** a cat. ((あれは) 猫です。)

×That is a cat.

### ちょっとくわしく 「what+名詞」

What is this? (これは何ですか。) という文では、what 1 語では「何」という意味ですが、後ろに名詞を続けて「何の～」という意味を表すはたらきがあります。

What color is your dog? (あなたの犬は何色ですか。)

— It's black. (黒です。)

この場合も、what が文の初めにくるように、<what + 名詞>を疑問文の最初にもってきます。

## POINT

- 「～は何ですか。」は **What is ~?** で表す。
  - ・「これは何ですか。」→ **What is this?**
  - ・「あれ〔それ〕は何ですか。」→ **What is that?**
- 答え方は、**It is [It's] ~.**

**例題**

次の日本語の意味を表すように、空所に最も適当な語を1語ずつ入れて、全文を書きなさい。

(1) A : これは何ですか。

B : コンピュータです。

A : (     ) (     ) this?

B : (     ) a computer.

A :

---

---

---

B :

---

---

---

(2) A : あれは何なの。

B : 卵だよ。

A : (     ) is (     )?

B : (     ) an (     ).

A :

---

---

---

B :

---

---

---

## 解答

## 「彼〔彼女〕は～です」の表し方



4

(1) No, he isn't [he's not]. He is Tom's  
teacher.

(2) Yes, she is. She's my good student.

## 形容詞の使い方



5

(1) This is a big dog.

(2) That hospital is old.

## what を用いた文



6

(1) A : What is this?

B : It's a computer.

(2) A : What is that?

B : It's an egg.

M · E · M · O

## 練習問題

指示に従って、次の問いに答えなさい。

- (1) 次の対話が成り立つように、それぞれの空所に最も適当な語を1語ずつ入れ、下線部全文を書きなさい。ただし、短縮形も1語とします。

A : (        ) your name?

B : (        ) (        ) is Hiroshi.

A : \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

B : \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

- (2) 次の対話が成り立つように、それぞれの空所に最も適当な語を1語ずつ入れ、下線部全文を書きなさい。ただし、短縮形も1語とします。

A : (        ) that boy your friend?

B : No, (        ) (        ).

A : \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

B : \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

- (3) 次の文をカッコ内の指示に従って書き換えるとき、空所に最も適当な語を1語ずつ入れ、下線部全文を書きなさい。

That is a car. (「古い」という意味を付け加えて)

That is (        ) (        ) car.

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

- (4) 次の文をカッコ内の指示に従って書き換えるとき、空所に最も適切な語を1語ずつ入れ、下線部全文を書きなさい。

That's a big hospital. (疑問文に)

(        ) (        ) a big hospital?

---

---

---

- (5) 次の日本語の意味を表すように、それぞれの空所に最も適切な語を1語ずつ入れ、下線部全文を書きなさい。

A : あれは何ですか。

B : 黒い猫です。

A : (        ) that?

B : (        ) a black cat.

A : 

---

---

B : 

---

---

## 解答



(1) A : What's your name?

B : My name is Hiroshi.

問いと答えの関係に注意しましょう。‘～ your name?’ と聞かれて、‘Hiroshi’ と具体的に答えているので、Aは「あなたの名前は何ですか。」と聞いていると考えられます。What is your name? と書きたいところですが、空所が1つしかないので、短縮形を使って What's your name? とします。Bは、‘your name?’ と聞かれているので、My name is ～. と答えます。これは決まった形の応答文なのでこのまま覚えるようにしましょう。

## 訳

A : あなたのお名前は何ですか。

B : 私の名前はヒロシです。

## 確認しよう

What is it? の形

一度話題にのぼったものについて、「それは何ですか。」とたずねるときには、it を使って What is it? となる。

A : Is this a guitar? (これはギターですか。)

B : No, it isn't. (いいえ、ちがいます。)

A : What is it? (それは何ですか。)

B : It's a ukulele. (ウクレレです。)



(2) A : Is that boy your friend?

B : No, he isn't.

別解 B : No, he's not.

Bに‘No,’があるので、Aは、Yes, No で答える疑問文 (What や Who などの疑問詞を使わない、また、or も使わないふつうの疑問文) であることがわかります。「あの少年はあなたの友達ですか。」「いいえ、友達ではありません。」という会話になると考えられます。Aの文の主語は、that boy であり、対応するbe動詞はisです。that boy は代名詞に置き換えると he ですから、Bの答えは、No, he isn't. となります。he is not は he's not と短縮することもできます。

訳

A : あの少年はあなたの友人ですか。

B : いいえ, 違います。



(3) That is an old car.

「あれは車です。」という文を「あれは古い車です。」という文に書き換えます。「古い」の意味の形容詞は old なので、名詞 car の前に old を置いて old car とします。名詞の前に形容詞が付くときは、〈a [an] +形容詞+名詞〉の語順にします。形容詞 old が母音で始まるので、冠詞は an を使うことに注意しましょう。



(4) Is that a big hospital?

That's a big hospital. (あれは大きい病院です。) を短縮形を使わずに表すと、That is a big hospital. です。これを疑問文に書き換えるときには、is を主語 that の前に出し、Is that ~? とします。that's をそのままにして× Is that's ...? としないよう注意しましょう。書き換えた文は「あれは大きい病院ですか。」という意味になります。



11

(5) A : What's that?

B : It's a black cat.

「あれは何ですか。」は What is that? ですが、空所は1つしかないの  
で、What isをWhat's と短縮形にします。What is that? に答えるときは、  
that を it に置き換え、It is ~ とします。ただし、ここも空所が1つなの  
で、It is をIt's と短縮形にしましょう。

M · E · M · O

## 3

## 応用学習

## スピーキング 1



### スピーキングに取り組むに当たって

- スピーキングでは、毎回のテーマに沿って、日常的なやりとりや発表で使われる表現を学習していきます。
- ここではルールを頭で覚えるのではなく、「表現に慣れる」ことが目的です。
- まだ学習していない文法事項や知らない単語・表現が登場することもあります。まずは聞いて声に出して練習してみましょう。

### 数字を使ったやりとりができる 1

英文中の算用数字を読み取るのは簡単ですが、数字を英語で伝えたり聞き取ったりするのは、練習しないと難しいかもしれません。でも、日常生活では数字を伝え合うことがひんばんにあります。時刻や住所、電話番号などの数字を使ったやりとりから練習を始めましょう。

### Listen!



1. まずは音声だけ聞いてみましょう。

## 2. スクリプトを見ながら聞き、訳を確認しましょう。

真紀子は次の土曜日に、留学生のアランの家へお昼ご飯を食べに行く約束をしています。

### スクリプト

Alan : Maki, please come to my house at 1:30 p.m. next Saturday.

Makiko : At 1:30 p.m. next Saturday... OK.

Alan : My address is 28-13, Yamano be, Naka-ku, Yokohama City. My house is on South Street. It's a white house with a brown roof.

Makiko : All right. Just in case, can I ask your phone number?

Alan : Sure. It's 123-4567-8901.

Makiko : Thanks. I can't wait!



### 訳

アラン：マキ、今度の土曜日、午後1時30分にぼくの家に来て。

真紀子：今度の土曜日、午後1時30分ね…。わかった。

アラン：ぼくの住所は横浜市中区山野辺28-13だよ。ぼくの家は南通りやまのべに面しているんだ。茶色い屋根の白い家だよ。

真紀子：わかった。念のために、電話番号を聞いていいかな。

アラン：もちろん、123-4567-8901だよ。

真紀子：ありがとう。待ちきれないわ！

## 3. 再び音声を聞きましょう。

## Check!



2

対話文に出てきた重要表現を聞き、そのあとに続けて発音してみましょう。

**Please come to my house at 1:30 p.m. next Saturday.**

(次の土曜日、午後1時30分にわたしの家に来てください。)

**My address is 28-13, Yamanobe, Naka-ku, Yokohama City.**

(わたしの住所は横浜市中区山野辺28-13です。)

**My house is on South Street.**

(わたしの家は南通りに面しています。)

**Just in case, can I ask your phone number?**

(念のために、あなたの電話番号をたずねてもいいですか。)

**It's 123-4567-8901.**

(123-4567-8901です。)

### 解説

電話番号、番地を含む住所の言い方を覚えることが、今回の数字を使ったやりとりのポイントです。では、表現を学びましょう。

#### ● Please come to my house at 1:30 p.m. next Saturday.

(次の土曜日、午後1時30分にわたしの家に来てください。)

英語では「時」と「分」の数字をそのまま読むので、「1時30分」は one thirty となります。「午前」はa.m.で、「午後」はp.m.で表し、数字の後ろに続けて使います。アメリカやカナダでは日本と違い、13時や21時のような24時間表記はほとんど使いません。「～時に」と表すには、数字の前にatをつけてat 1:30と言います。

● **My address is 28-13, Yamanobe, Naka-ku, Yokohama City.**

(わたしの住所は横浜市中区山野辺28-13です。)

英語で住所を言うときは、<部屋番号→建物名→番地→町・村→市・区→都道府県→郵便番号→国>の順に表します。日本語とは逆に、狭い範囲から書き始めることを覚えておきましょう。28-13の部分はtwenty-eight, thirteenとなります。「区」は英語でwardと言いますが、日本の住所を表す場合は～-kuと表しても通じます。

● **My house is on South Street.** (わたしの家は南通りに面しています。)

このonは「(場所) に面して」という意味。a shop on the riverと言うと、一般的には「川に面した店」を表します。また、通りの名称には、ふつうtheをつけません。

● **Just in case, can I ask your phone number?**

(念のために、あなたの電話番号をたずねてもいいですか。)

just in caseは「念のために」という意味。**Can I ask ~ ?**は「～をたずねてもいいですか」と許可を求める表現です。真紀子はアランにphone number(電話番号)をたずねています。phone numberは単にnumberと表すこともあります。

● **It's 123-4567-8901.** (123-4567-8901です。)

電話番号の部分をスペリングで表すと、one two three, four five six seven, eight nine zero oneとなります。ハイフンは読みません。0をoh (オー)と言ったり、99のように同じ数字が続くときはnine nineのほか、double nineと言ったりすることもあります。


**コラム ~ nextが表す意味~**

曜日を伝える場合、いつのことなのかを間違いなく伝えることが大切です。発言しているのが月曜日だったとしたら「(2日後の) 水曜日にわたしの家に来てください。」という場合はPlease come to my house on Wednesday. またはPlease come to my house this Wednesday. と言います。発言しているのが金曜日だったとしたら「(5日後の) 水曜日にわたしの家に来てください。」という場合は、週をまたぐのでPlease come to my house next Wednesday. またはPlease come to my house on Wednesday. と言います。あなたが言われる側の場合は、いつのことなのかあいまいなら、きちんと確かめるようにしましょう。

**Speak!**


3

アランの発言だけが流れます。真紀子になったつもりで、アランと会話をしましょう。

Alan : Maki, please come to my house at 1:30 p.m. next Saturday.

Makiko : At 1:30 p.m. next Saturday... OK.

Alan : My address is 28-13, Yamanobe, Naka-ku, Yokohama City. My house is on South Street. It's a white house with a brown roof.

Makiko : All right. Just in case, can I ask your phone number?

Alan : Sure. It's 123-4567-8901.

Makiko : Thanks. I can't wait!

## 練習問題



4

京子と友達のブライアンのやりとりを聞き、下の表の空欄に適切な日本語または数字を入れましょう。

加奈子の家へ行く時間	(      (1)      )
加奈子の子の住所	上尾市 元町 (      (2)      ), ライオンズ・アパート (      (3)      ) 号室
加奈子の電話番号	(      (4)      )
加奈子の子の電話番号	(      (5)      )

(1) .....

(2) .....

(3) .....

(4) .....

(5) .....

**解答・解説****解答**

- (1) 午後4時30分      (2) 7-1-12      (3) 306  
(4) 234-5678-9901      (5) 345-678-9012

**解説**

今回学習した表現を参考に取り組みましたか。

- (1) 京子は最初の発言でplease go to Kanako's house at 4:30 p.m. tomorrow (明日、加奈子の家に午後4時30分に行ってもらえるかしら)と言っています。京子が続けて言っている「午後4時までピアノのレッスンがある」と混同しないようにしましょう。
- (2)・(3) 京子の2回目の発言で、加奈子の家の住所を伝えています。Room 306はRoom three oh six, 7-1-12はseven, one, twelveと発音されています。なお、Room 306はRoom three hundred and six と読まれることもあります。
- (4) 京子は3回目の発言で、加奈子の電話番号をtwo three four, five six seven eight, nine nine zero oneと伝えています。ちなみに0はohと読むこともでき、99のように同じ数字が続くときはnine nineのほか、double nine と言ったりすることもできます。
- (5) 京子は4回目の発言で、加奈子の家の電話番号をthree four five, six seven eight, nine zero one twoと伝えています。

数字をスムーズに聞き取ったり言ったりできるようになりましたか。自分や友達の家や電話番号を言う練習もしてみましょう。

音声を聞いて、一緒に発音してみましょう。



4

Kyoko : Brian, please go to Kanako's house at 4:30 p.m. tomorrow. I have a piano lesson until 4:00 p.m., so I can't go with you.  
 Brian : That's OK. Where is her house?  
 Kyoko : It's Room 306, Lions Apartments, 7-1-12, Motomachi, Ageo City.  
 Brian : All right.  
 Kyoko : Just in case, Kanako's number is 234-5678-9901.  
 Brian : Let me repeat that\*. It's 234-5678-9901, right?  
 Kyoko : Yes, and her home number is 345-678-9012.  
 Brian : Thanks.

(注) Let me repeat that.=繰り返させてください。

**訳**

京子 : ブライアン、明日、加奈子の家に午後4時30分に行ってもらえるかしら。私は午後4時までピアノのレッスンがあるから、あなたと一緒に行けないの。  
 ブライアン : いいよ。彼女の家はどこなの？  
 京子 : 上尾市元町7-1-12, ライオンズ・アパート306号室よ。  
 ブライアン : わかった。  
 京子 : 念のために、加奈子の電話番号は234-5678-9901よ。  
 ブライアン : 繰り返させて。234-5678-9901だね？  
 京子 : そう、それと彼女の家の電話番号は345-678-9012よ。  
 ブライアン : ありがとう。

6

応用学習 be 動詞 2

## 英作文演習

30分

指示に従って、次の問いに答えなさい。

- (1) 次の日本語の意味を表すように、カッコ内の語を並べ換えて英文を完成させ、全文を書きなさい。

彼はわたしの母の友人です。

( friend / he / is / mother's / my ).

---



---



---

- (2) 次の対話が成り立つように、カッコ内の語句を並べ換えて英文を完成させ、下線部全文を書きなさい。

A : What's this?

B : ( a / birthday present / from / is / it ) Uncle John.

A : Oh, how nice!

---



---



---

- (3) 次の対話が成り立つように、カッコ内の語句を並べ換えて完成させ、下線部全文を書きなさい。ただし、余分な語が1語含まれているので、それを除くこと。

A : ( a / is / that / who / woman ) ?

B : She is Emi's mother.

---



---



---

- (4) 次の日本語の意味を表すように、カッコ内の語を並べ換えて英文を完成させ、全文を書きなさい。

これはあなたの絵ですか、それともモモコの絵ですか。

( is / Momoko's / or / picture / picture / this / your ) ?

---



---



---

- (5) 次のような場面では、英語ではどのように言えばよいですか。適当な英文を書きなさい。

ケーキを作るときに「あの卵は古いから使ってはだめ。」と言われ、手前にある卵を指して「この卵も古いのですか。」とたずねるとき。

---

---

---

- (6) 次のような場面では、英語ではどう言えばよいですか。適当な英文1文を書きなさい。

手元にあるボールを指して、「これはあなたのボールですか、それともわたしのボールですか。」と聞きたいとき。

---

---

---

- (7) 次の日本語を英語に直しなさい。

A：あの男性はだれですか。

B：シュンスケ (Shunsuke) です。彼は有名なサッカー選手です。

---

---

---

---

---

---

## 解答



(1) He is my mother's friend.

He is ～. (彼は～です。) という文を作りましょう。すると, friend, mother's, my の3語が残ります。friend (友人)の前には, my (わたしの)も, mother's (母の)も置くことができますが, 「わたしの母の友人」なので, my を mother's の前に置いて「わたしの母の」とし, friendにつなげます。



(2) It is a birthday present from Uncle John.

Aの What's this? (これは何ですか。) に答える文を組み立てます。答えの文では, this を it に置き換えて, It is ～ とします。残る語句は, a, birthday present (誕生日プレゼント), from (～から) ですね。Uncle John (ジョンおじさん) のような固有名詞に冠詞は付きませんから, a は birthday present の前に置きます。「～からの誕生日プレゼント」は a birthday present from ～ で表すことができます。

## 訳

A : これは何ですか。

B : それはジョンおじさんからの誕生日プレゼントです。

A : まあ, 何てすてきなんでしょう。

## さらにくわしく

「おじ」は uncle だが, 親しい者同士の会話や, 呼びかける場合には, Uncle ～ と固有名詞のように大文字で始めることがある。

mother → Mother

father → Father

なども同様。

Are you tired, Mother? (お母さん, 疲れているの?)



(3) Who is that woman?

Bは「彼女はエミのお母さんです。」と答えています。Aは「～はだれですか。」とたずねていると考えられるので〈Who + is [are] + 主語?〉の形で表します。主語は a woman か that woman のどちらかですが、誰なのかたずねているのですから不特定の女性 a womanではなく、特定の女性 that womanと考えられます。不要な語は a です。

訳

A：あの女性は誰ですか。

B：彼女はエミのお母さんです。



(4) Is this your picture or Momoko's picture?

「Aですか、それともBですか。」という文の語順は、〈be動詞+主語+A or B?〉です。‘A or B’の部分は「あなたの絵、それともモモコの絵」で、your picture or Momoko's picture です。主語は this (これ)、動詞は is ですから、Is this your picture or Momoko's picture? となります。



(5) Is this egg old, too?

**別解** Is this an old egg, too?

自分の近くにあるものを指して「この～」というときは〈this + 名詞〉で表します。「この卵」は this egg です。「この卵も古いのですか。」とたずねる文なので this egg に対応する動詞 is を文頭に置いて、Is this egg ~? とします。「古い」は old です。「～も」というときは文末に too を置きます。too の前のコンマはあったほうが自然です。手前にある卵が古いかどうかをたずねるので「これも古い卵ですか。」と考え、Is this an old egg, too?としても正解です。old egg (古い卵)は数えられるのでanを付けることを忘れないようにしましょう。oldは母音から始まるのでaではなく、anが付きます。



(6) Is this your ball or my ball?

**別解** Is this your ball or mine?

自分の近くにあるものを指すときは this を使います。「これはAですか、それともBですか」とたずねるときは Is this A or B? の形で表します。「あなたのボール」は your ball, 「わたしのボール」は my ball です。これをそれぞれAとBにあてはめ、Is this your ball or my ball? とします。ここではmy ballはmineという1語で表すことができますので、別解として示しています。しかし、これから学習する語ですので、ここで覚えなくても大丈夫です。



(7) A : Who is that man?

B : He's [He is] Shunsuke. He's  
[He is] a famous soccer player.

「～はだれですか」という疑問文は、〈Who + is + 主語?〉という語順です。主語は「あの男性」ですから、that man とします。答えの文ではthat man を he で受けて、He's [He is] Shunsuke. とします。「有名なサッカー選手」は soccer player (サッカー選手) の前に、「有名な」の意味の形容詞 famous を置きます。soccer player は数えられる名詞ですから、忘れずにaを付けましょう。〈a [an] + 形容詞 + 名詞〉という語順になります。

7

be 動詞 2

## 添削問題 1

30分

「一貫標準」「一貫発展」共通の問題です。

1 指示に従って、次の問いに答えなさい。

(配点 20)

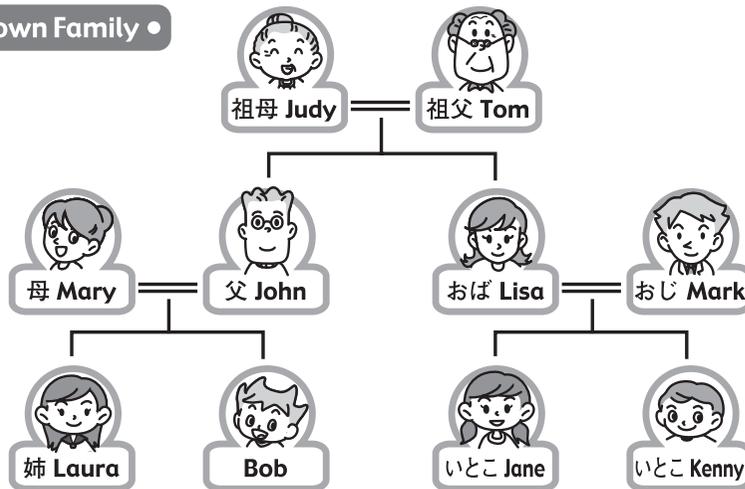
(1) 次の日本語を英語に直しなさい。(10点)

A : あの少年はあなたの弟ですか。

B : いいえ、ちがいます。彼はジュンの弟です。

(2) 次はボブの家族関係を図にしたものです。図を参考にして、対話が成り立つように空所①, ②にそれぞれ適当な英文 1 文を入れなさい。(10点)

## • The Brown Family •



Bob : This is my family. My grandmother is Judy. She is fine.  
My grandfather is Tom. He is fine, too.

Saki : Is Jane your sister or your cousin?

Bob : { ① }

Saki : Who is John?

Bob : { ② }

M · E · M · O

「一貫標準」「一貫発展」共通の問題です。

2 次の英文を読んで、下の問いに答えなさい。

(配点 30)

Bill : What's that?  
 Taro : ① This?  
 Bill : Yes. What is it?  
 Taro : It's a potato\*.  
 5 Bill : A potato? ② That's not a potato.  
 Taro : It is a potato.  
 Bill : [ ③ ]  
 Taro : [ ④ ]  
 Bill : [ ⑤ ]  
 10 Taro : This potato is red. ⑥ It's a Satsuma.  
 Bill : A Satsuma?  
 Taro : Yes, a Satsuma potato.  
 Bill : ⑦ A Satsuma is not a potato. A Satsuma is a small orange  
 in England\*. We eat ⑧ it at Christmas\*.  
 15 Taro : No, a Satsuma is a potato in Japan. It's a sweet\* potato.  
 Are you hungry?  
 Bill : Yes, I am.  
 Taro : Good. Let's eat\* it.

(注) potato = イモ      England = イングランド  
 at Christmas = クリスマスの季節に      sweet = 甘い  
 Let's eat ~ = ~を食べよう

- (1) 下線部①, ②, ⑥, ⑧のうち, 指しているものがほかと異なるものを1つ  
 選び, 番号で答えなさい。 (6点)
- (2) 本文の流れに合うように, 空所③, ④, ⑤に入れるのに最も適当な文を  
 次の中からそれぞれ選び, 記号で答えなさい。 (各3点)
- ア Yes, it's a red potato.  
 イ A potato isn't red.  
 ウ It's red.

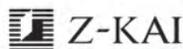
(3) ビルが下線部⑦のように言ったのはなぜですか。簡潔な日本語で説明しなさい。 (8点)

(4) 本文の内容に合うように、次の質問に主語と動詞のある英文で答えなさい。 (7点)

What is a Satsuma in Japan?

# 解答用紙

禁無断転載



この答案の添削有効期限は \_\_\_\_\_ です。

※解答は、濃く、はっきりとご記入ください。

1/2枚目  
PET1C1-S1D1

総得点 **26** / 50

be 動詞 2

添削問題 1

1 PET1C1-S1C1

(1) Is that boy -3

5 / 10

A: That boy is your brother?

\* 「～ですか」は疑問文です。be動詞を主語の前に置きます。

Jun's -2

B: No he isn't. He is Jun brother.

\* 「ジュンの～」は Jun's (所有格) で表します。

(2) -1 cousin

3 / 5

① She is my cozin -1

-1

5 / 5

② He is my father.

◀②

英語

◀①

▼解答が終わってから記入しましょう。

学年 (D)2・3・卒 / 志望校

大学

解答時間 30 分

英文を書くのはむずかしい

添削者より

文の組み立てはよくできています。疑問文の語順などは、ルールは理解していても、いざ書いたり話したりすると間違えてしまうものです。反復で身につけましょう。

添削者名

三島

答案感想欄

難しかった問題 [ 2 ] (4)

2

PET1C1-S1C2

4  
0 / 6

(1)

⑧

\* ①, ②, ⑥はすべて, TaroとBillが見て話しているイモを指しています。⑧は「イングランドのサツマ (小さいオレンジ)」のことですね。

5  
3 / 3

(2)

③ ウ

6  
0 / 3

④

イ

\* ウ「それは赤いよ。」→ア「そうだよ。赤いイモなんだ。」→イ「イモは赤くないよ」という順番になります。

7  
0 / 3

⑤

ア

8  
4 / 8

(3)

「サツマ」はイングランドで小さな

オレンジです。 のことだから は、クリスマスのときに食べる

\* 小さいオレンジの説明として, We eat it at Christmas. の部分も加えましょう。

\* 理由を説明するときは「…から。」とまとめましょう。

9  
6 / 7

(4)

It's potato.

a (sweet)

\* potatoは数えられる名詞なので, aが必要です。

会話の前半で、サツマイモを知らないビルに、タロウが「これはイモだ」ということを説明しています。ビルはイモが赤色をしていることに驚いています。後半は、「サツマ」は日本では「サツマイモ」、イングランドでは「小さなオレンジ」だということがポイントです。会話中にたくさんの代名詞が出てきました。代名詞が指すものは直前の部分にありますから、何を指すか考えながら読みましょう。